

Ⅲ 調査票

Ⅲ 調査票

見える化調査

令和元（2019）年9月

市町名		氏名		担当世帯数	
-----	--	----	--	-------	--

※公表することはありません

【問1】 民生委員・主任児童委員の別

あなたが当てはまる方に○をつけてください。

- ア 民生委員・児童委員（区域担当）
- イ 主任児童委員

【問2】 相談の分野

あなたは、これまでに受けた困りごとの相談で、どのような相談が多いと感じますか。最も多いと感じるもの1つに○をつけてください。

- ア 高齢者に関する困りごと（医療や介護、生活のことなど）
- イ 障害者（児）に関する困りごと（生活や就労、将来のことなど）
- ウ 子どもに関する困りごと（妊娠中の不安や子育てのことなど）
- エ 生活困窮に関する困りごと（生活保護や多重債務のことなど）
- オ その他（ _____ ）

【問3】 複雑・複合的な困りごとを抱えた世帯の把握

あなたは、ひとつの世帯で“公的な福祉サービスの分野をまたがる困りごと（いわゆる「複雑・複合的な課題」）”を抱えている世帯を把握していますか。

- ア 把握している ⇒ 「問4」にお進みください
- イ 把握していない ⇒ 「問7」にお進みください
- ウ 分からない

○ 複雑・複合的な課題とは・・・

高齢者福祉、障害者福祉、子ども・子育て福祉など、公的な福祉サービス分野をまたがって支援を必要とする者（次の「問4」に一部例示）

【問4】 把握している困りごと（複雑・複合的な課題）

問3で「ア 把握している」と答えた方にお聞きします。

それは、どのような困りごとでしたか。

当てはまるものすべてに○をつけ、おおよその件数を記入してください。

（※「ひきこもり」の定義は次頁に記載していますので、参考にしてください。）

- ア 育児と介護に同時に直面している（ダブルケア） _____ 件
- イ 高齢の親とひきこもり状態などの中高年が同居している（8050問題） _____ 件
- ウ 高齢の親と障害者（児）が同居している _____ 件
- エ 障害者が、親の介護又は育児をしている _____ 件
- オ その他（ _____ ） _____ 件

○ ひきこもりとは・・・(「問8」及び「問11」でいう「ひきこもり」も同様です)

概ね15歳から65歳未満の者で、次に該当するような方

- ① 仕事・学校・家庭以外の人との交流などの社会参加ができない状態が概ね6か月以上続いていて、自宅にひきこもっている状態の方
 - ② 上記のような社会的参加ができない状態であるが、時々買い物などで外出することがある方
例) ・普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
・普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- ※ ただし、いずれも重度の障害や疾病等で外出できない方を除きます。

【問5】 複雑・複合的な困りごとの相談を受けたことの有無

問3で「ア 把握している」と答えた方にお聞きします。
その世帯から、相談を受けたことはありますか。

- ア 受けたことがある ⇒ 「問6」にお進みください
イ 受けたことはない ⇒ 「問7」にお進みください

【問6】 複雑・複合的な困りごとへの対応

問5で「ア 受けたことがある」と答えた方にお聞きします。
その相談に対して、どのような対応をしましたか。
当てはまるものすべてに○をつけ、おおよその件数を記入してください。

- ア 市役所・町役場の担当課へつないだ _____ 件
イ 市役所・町役場以外(例：社会福祉協議会等)の支援機関へつないだ _____ 件
ウ 自らが支援を続けている _____ 件
エ 支援につながっていない _____ 件

【問7】 制度の狭間にいる困りごとを抱えた世帯の把握

あなたは、“現行の福祉制度では基準を満たさないなどの理由により、適切な支援が受けられない困りごと(いわゆる「制度の狭間」)”を抱えている世帯を把握していますか。
(「制度の狭間」については、次の「問8」に一部例示)

- ア 把握している ⇒ 「問8」にお進みください
イ 把握していない
ウ 分からない
⇒ 「問11」にお進みください

【問8】 把握している困りごと(制度の狭間)

問7で「ア 把握している」と答えた方にお聞きします。
それは、どのような困りごとでしたか。
当てはまるものすべてに○をつけ、おおよその件数を記入してください。
(※「ひきこもり」の定義は「問4」と同様です。)

- ア ごみ屋敷 _____ 件
イ ひきこもり状態など、社会的に孤立している疑いがある者 _____ 件
ウ 要介護の認定には至らないが、買い物や通院などの日常生活に困っている高齢者 _____ 件
エ 障害の疑いがあるが、等級の認定基準に満たないため認定を受けられない者 _____ 件
オ その他(_____) _____ 件

【問9】 制度の狭間にいる困りごとの相談を受けたことの有無

問8で「ア 把握している」と答えた方にお聞きします。
その世帯から、相談を受けたことはありますか。

- ア 受けたことがある ⇒ 「問10」にお進みください
イ 受けたことはない ⇒ 「問11」にお進みください

【問10】 制度の狭間にいる困りごとへの対応

問9で「ア 受けたことがある」と答えた方にお聞きします。
その相談に対して、どのような対応をしましたか。
当てはまるものすべてに○をつけ、おおよその件数を記入してください。

- ア 市役所・町役場の担当課へつないだ _____ 件
イ 市役所・町役場以外（例：社会福祉協議会等）の支援機関へつないだ _____ 件
ウ 自らが支援を続けている _____ 件
エ 支援につながっていない _____ 件

【問11】 ひきこもり状態や、その疑いがある者について

「ひきこもり」状態や、その疑いがある者を把握している方にお聞きします。
※ 「ひきこもり」状態の者などを把握していない場合、お答えいただく必要はありません。
その方や世帯の状況について、把握している範囲でお答えください。

※ 明確に分からない場合には、「分からない」又は「推察」で結構です。
※ 回答に当たり個別訪問をするなど、改めて調査していただく必要はありません。

	1 性別	2 年齢	3 同居家族	4 ひきこもりの状況	5 ひきこもりの期間	6 ひきこもりに至った経緯 (複数選択可)
				①外出せずにひきこもっている ②ひきこもってはいるが、買物程度の外出はする ③分からない	①1年未満 ②1～3年未満 ③3～5年未満 ④5～10年未満 ⑤10年以上 ⑥分からない	①不登校 ②就職できなかつた ③失業した ④家族や家庭環境に起因 ⑤疾病・性格など本人の状況 ⑥分からない
例	Ⓐ・女	(40)歳代	Ⓐ・無	① ② ③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
1	男・女	()歳代	有・無	① ② ③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
2	男・女	()歳代	有・無	① ② ③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
3	男・女	()歳代	有・無	① ② ③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
4	男・女	()歳代	有・無	① ② ③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
5	男・女	()歳代	有・無	① ② ③	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

質問は以上です。御協力ありがとうございました。